

TANYO SHINYO KINKO

地域経済の発展を応援します。



当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、大正15年に但馬／生野にて創業。昭和63年5月、東播磨の加古川市に本店を移転、中・西播磨を含めた兵庫県中南部を主な事業区域とし、地域の中小企業者や住民による会員組織の金融機関として、相互扶助による「地域の発展」「豊かな暮らしの実現」を共通の理念としています。

地元のお客様からお預かりした大切な預金は、地元で資金を必要とされるお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民の皆さまとの強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めています。

また、金融サービス機能の提供にとどまらず、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

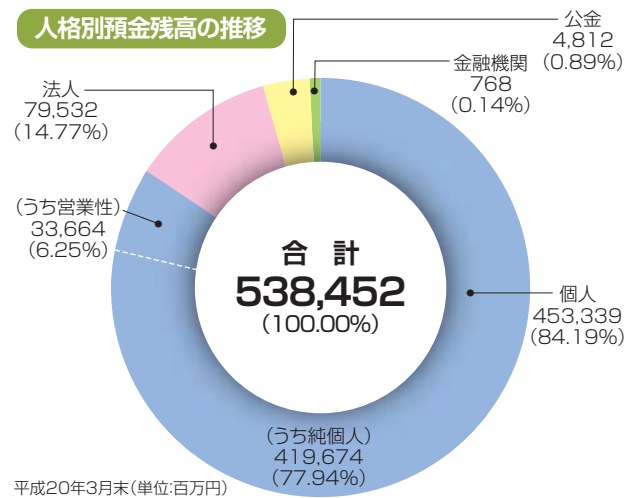
現在、兵庫県が中心となり進められている「銀の馬車道ネットワーク協議会」「鉱石の道推進協議会」にも積極的に協力しています。

地域貢献1 お客様のご預金について

当金庫の平成20年3月末の預金積金残高は、5,384億円です。お客様よりご信頼をいただき、ボーナス、年金のお預け入れなど個人預金を中心に順調に推移しています。

また、他の金融商品による運用をご希望のお客様には要望に応じて個人向け国債、個人年金保険、投資信託等の販売を行っています。

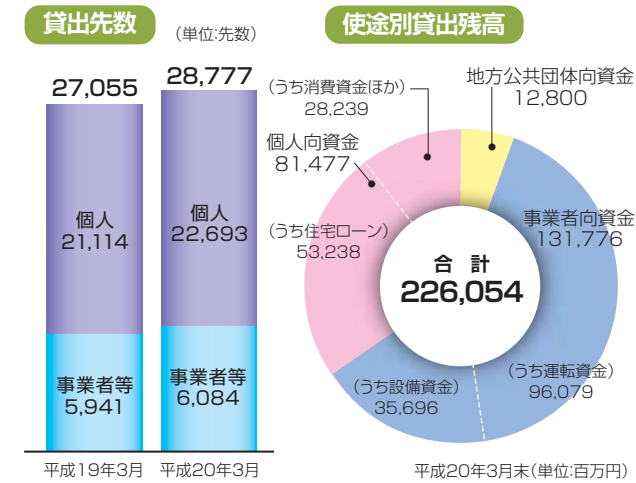
さらに、お客様の大切な財産の運用について、安全かつご満足いただけるよう、商品の開発やサービスの充実に向け努力しています。詳しくは25・26ページをご覧ください。



地域貢献2 地域のお客様へのご融資について

当金庫の平成20年3月末の貸出金残高は、2,260億円です。お客様からお預け入れいただいた預金積金は、お客様のさまざまな資金ニーズにお応えし、地域経済の活性化に資するために事業区域の中小企業への設備資金、運転資金などの事業資金の融資を通じて地域社会への還元を行っています。また、個人のお客様には住宅ローン、消費者ローン等のご融資を行っています。

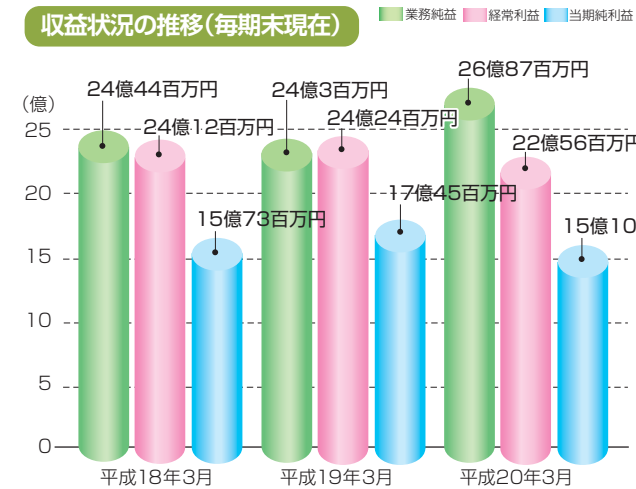
平成20年3月末における貸出金の使途別残高構成は下図の通りです。取扱商品につきましては27・28ページをご覧ください。



地域貢献3 今期の決算について

平成18年度の創業80周年運動の反動もあり、預金・貸出金の伸びは前年を下回る結果となりました。

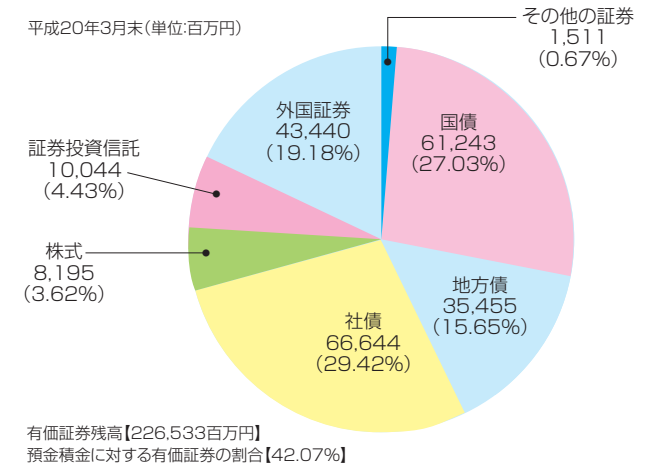
損益については、基準金利の上昇や特別定期預金取扱いなどにより預金利息が大幅に増加しましたが、貸出金利息及び預け金利息収入も増加し、前年を上回る業務純益26億円を計上しました。また、当期純利益については、不良債権の処理費用の増加や株価の下落などから15億円(前期比2億円減)となりましたが、サブプライムローンに端を発した景気減速という環境の下、地元金融機関として着実な事業運営に取り組み、比較的良好な実績をあげることができました。



地域貢献4 ご融資以外の運用について

平成20年3月末の有価証券運用残高は2,265億円となっています。

有価証券運用については、安全第一を心掛けており、国債・地方債などを中心に流動性の確保と収益性の向上を目指しています。詳しくは45・46ページをご覧ください。



地域貢献5 地域経済の活性化に向けた取組みについて

当金庫では、「地域密着型金融の推進」に基づいた機能強化計画の策定とその推進に向けた取り組みを行っています。お取引先との永く親密な関係の中から、ライフサイクルに応じたご支援を強化するために、金融業務だけではなく、公的機関や外部機関等との連携を図りながら、あらゆるご相談に応じています。

また、地域経済の活性化や持続的な成長を視野に入れた地域の「面的」再生支援を「地域金融機関の使命」と位置づけ積極的に取り組んでいます。

ライフサイクルに応じた融資商品等、詳しくは27・28ページをご覧ください。

地域貢献6 店舗・出張所(店外ATM)のネットワークについて

平成20年3月末現在、当金庫は兵庫県中南部地域に30店舗と73出張所(店外ATM)を配置し、お客様に身近で便利にご利用いただけるよう店舗網の充実に努めています。平成20年7月現在では30店舗、75出張所となっております。詳しくは、68ページをご覧ください。

